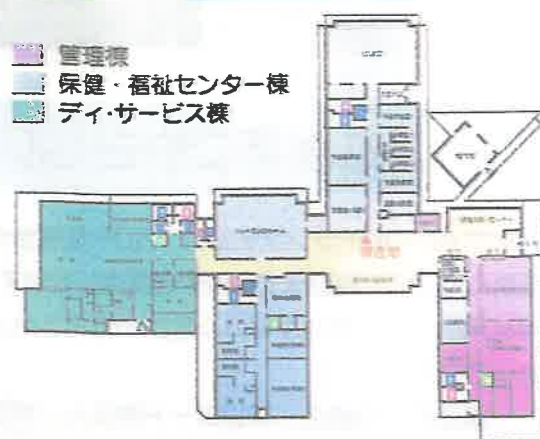


施設の概要

センター	構造	鉄骨造一部2階建
	1F面積	3,201m ²
	2F面積	150m ²
	延床面積	3,351m ²

RDF機械室	構造	鉄骨造平屋建
	1F面積	273m ²

施設内容



1F 浴室(3)
機能回復訓練室
トレーニングルーム
大会議室、小会議室
栄養指導室
診察室(3)
厨房、食堂
喫茶室
2F 作業室、倉庫

保健指導室
健康相談室
研修室
家族交流談話室
相談室
介護機器展示コーナー

熱供給設備概要

流動床式 RDFボイラ

熱出力 1,500,000kcal/h
圧力 水頭圧(温水)
最高使用温度 100℃
RDF燃焼量 295kg/h
炉本体寸法 2118mmφ(直径)
× 9400mm(高さ)

熱源機器

熱交換器 水管式
温水タンク 35m³
冷凍機 132RT
暖房用熱交 400Mcal/h
貯湯槽 3.5m³ 800Mcal/h
冷却塔 972Mcal/h
油焚ボイラ 貫流温水ボイラ
300Mcal/h
受水槽 6m³



▲ 熱源設備



髯日本リサイクルマネジメント

〒113-0033 東京都文京区本郷2-30-7
本郷TSビル4階
TEL 03-3816-0113



東京ガス・エンジニアリング株式会社

〒163-1018 東京都新宿区西新宿3-7-1
新宿パークタワー18階
TEL 03-5322-7642

島根県/加茂町総合保健福祉センター用 流動床式RDFボイラシステム



髯日本リサイクルマネジメント



東京ガス・エンジニアリング株式会社

加茂町総合保健福祉センター用小型流動床式RDFボイラシステムについて

加茂町総合保健福祉センターは在宅介護支援センター及びデイ・サービスセンターを含む総合センターで3つの浴槽加温、大会議室・トレーニング室・機能回復訓練室等の床暖房、冷暖房及び給湯用の熱源が流動床式RDFボイラシステムでまかなわれています。このボイラシステムは、RDF (Refuse Derived Fuel: ごみ固形燃料) の熱利用と、環境保全を目的として(株)日本リサイクルマネジメントの指導のもとに、東京ガス・エンジニアリング(株)と(株)よしみねが共同開発したもので、様々な特徴を兼ね備えています。

3大特徴

- ① 国内最新の一般ごみRDF用小型流動床ボイラ
- ② 多彩な施設に利用可能
- ③ 小型で環境にやさしい



① 国内最新の一般ごみRDF用小型流動床ボイラ

流動床式RDFボイラシステムの燃料には、加茂町雲南エネルギーセンターで製造されたRDFが利用されています。RDFは、分別収集された一般可燃ごみを、破碎・乾燥・選別・成形の過程を経て製造された固形燃料です。RDFは、臭いもほとんどなく、貯蔵・輸送が容易な上、燃焼時に石炭に近い熱エネルギーを発生するなど、燃料としての多くの利点を持っています。

このボイラシステムは、RDFの利点を最大限に活かした国内では最新の一般ごみRDF用小型流動床ボイラです。



▲ RDF



▲ 浴槽



▲ トレーニング室

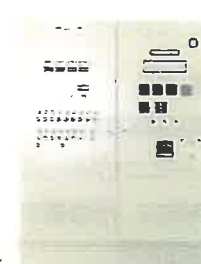


▲ 機能回復訓練室

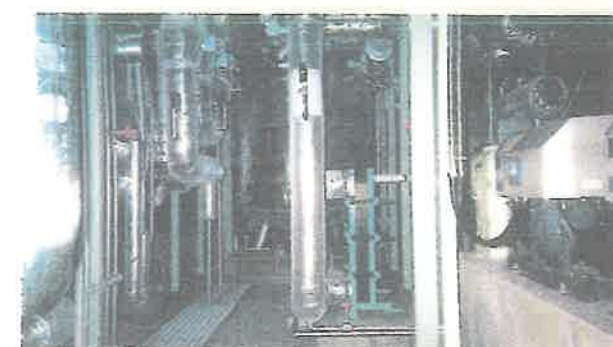
② 多彩な施設に利用可能

流動床式RDFボイラシステムは、RDFを燃焼し、その熱エネルギーを温水、蒸気として回収利用する為、多彩な施設に利用する事が可能です。

『加茂町総合保健福祉センター』では、浴槽加温用設備、各施設の冷暖房空調設備及び給湯設備等に利用されています。



動力・制御盤 ▶



▲ 冷凍機、貯湯槽



▲ RDF機械室外観



RDF燃焼設備 ▶

③ 小型で環境にやさしい

流動床式RDFボイラシステムは、RDFを完全燃焼させる為に、縦型の流動床式燃焼炉を採用しています。燃焼炉は円筒形で、直径が2m、高さが約9.5mと小型になっています。

更に、高温での燃焼、プレコート剤投入、バグフィルタ設置等、ダイオキシンに対する対策も万全を期しています。又、供給空気を適正としたO₂コントロールによる低CO化も達成できる等、非常に環境にやさしいのです。

フロー図

